

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	成田 めぐみ (なりた めぐみ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	修士課程 2年
発表年月 または事業開催年月	2023 年 7 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本ストレスマネジメント学会第 21 回学術大会・研修会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	成田めぐみ
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	他者視点取得に関連する器質的要因に対しての介入効果の検討
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>【問題】 他者視点取得に関連する社会的脳ネットワークやミラーニューロンなどの器質的な要因に対して介入研究が行われているものの、その効果は一貫していない。これらの研究について、詳細な介入方法や手続き、介入効果が十分に整理されていないのが現状である。そこで本論考では、他者視点取得に関連する器質的要因の改善を目的とした介入の手続きとその効果を概観し、有効性について検討することを目的とした。</p> <p>【方法】 社会的脳ネットワークまたはミラーニューロンを改善させるために介入が行われたとされる学術論文を対象とした。適格基準は、(a) 社会的脳ネットワークまたはミラーニューロンへの介入効果が明記されていること、(b) 介入前後における諸変数の記述統計量が記載されていること、(c) 論文中にセッションの概要が記載されていることとした。国立情報科学研究所 NII 論文情報ナビゲーター (以下、CiNii) と American Psychological Association 制作の文献情報データベース (以下、PsycINFO) を用いて電子検索を行った。CiNii には、キーワードとして、「ミラーニューロン」または「社会的脳ネットワーク」と「介入」を組み合わせ用いた。PsycINFO には、キーワードとして「“mirror neurons” OR “social brain network” AND “intervention”」を用いた。</p> <p>【結果】 ミラーニューロンの活性化に効果があった手続きとして、運動観察、運動イメージ、運動実行、運動模倣、ニューロフィードバックトレーニング、感覚トレーニングがあげられた。また、社会的脳ネットワークの活性化に効果があった手続きとして、バーチャルリアリティ社会的認知トレーニングがあげられた。</p> <p>【考察】 社会的脳ネットワークまたはミラーニューロンを活性化させる手続きとして、運動イメージ、運動実行、運動模倣、バーチャルリアリティ社会的認知トレーニングがあげられた。他者視点取得に関連する器質的要因の改善は、標的とする器質的要因によって、介入アプローチが異なることが示された。今後は、他者視点取得の改善を目的とした介入を行う際に、器質的要因のアセスメントに基づいた介入内容も検討する必要があると考えられる。</p>	

※無断転載禁止